

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

さいたま市立

東大成小学校

東大成小学校の合言葉「みんなが笑顔の東大成小学校」

学校教育目標である「よく考え 進んで学ぶ子」「すなおで 思いやりのある子」「心も体も たくましい子」「仲間と 協力し合う子」の実現に向けて、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「コミュニケーション能力の育成」に重点を置き、日々の教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市北区東大成町2-1-2

■電話：048-663-3210

■FAX：048-663-9883

■交通：埼玉新都市交通ニューシャトル「鉄道博物館駅」下車徒歩10分

01 特別活動を中心とした児童主体の活動の実践



本校では昨年度まで研究として取り組んだ特別活動を通して、児童主体の活動を推進しています。主な活動として、以下のものがあげられます。

(1) 学級や学校生活をよりよくするための学級会

児童自らが学級や学校における生活上の諸問題に気づき

①やってみようこと ②つくりたいこと ③解決したいこと

などを学級会で話し合い、集団で合意形成をしています。話し合いで決まったことをもとに計画を立てて、実践し、振り返りをもとに次回に活かせることを考えるなど、全ての活動が児童主体となって活動を行っています。



学級の男女の仲を深めるためにできることを考える学級会

(2) 自発的・自主的な異年齢集団活動

高学年が行うクラブ活動や委員会活動、全学年が交流する縦割り活動など異年齢集団活動を多く取り組んでいます。リーダーを中心として自分たちで活動計画、実施しています。活動を通して、上級生は、下級生への思いやりのある接し方を学び、下級生は、進んで他学年と関わることで、所属感や充実感を感じることができるようになっています。また、委員会活動では、全ての委員会が年度当初にSDGsの目標を定め、年間を通して目標を達成するために活動し、児童集会等において啓発活動にも取り組んでいます。

02 地域人材を活用したホンモノに触れる教育の推進



本校では、学校・家庭・地域・企業が教育に係る「地域の多くの子どもの長を見守る仕組みづくり」を組織的に展開し、体験活動やホンモノに触れることの教育を推進しています。ホンモノとは、それぞれの専門職、職人などとの触れ合い、実際に教育活動や学習で課題となった実物を五感で体験させることです。

令和7年度は、歌手を招いた童謡コンサート・地域のお年寄りから教わった昔遊びの会、専門家による走り方教室、建具屋さんによる講話及び縄づくり体験などを実施しました。今年度もさまざまな体験活動を実施する予定です。



2名の歌手による童謡コンサート

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立** > > > > > > > > **日進小学校**

本校は、創立154年を迎え、歴史のある地域に根差した学校です。学校教育目標「たすけあう子 かんがえる子 たくましい子」の具現化のため、学校経営方針「子どもに寄り添い、気づき、認め、褒めて育てる教育の推進」に取り組んでいます。

■所在地：埼玉県さいたま市北区日進町 2-911 ■電話：048-663-6942
■FAX：048-664-8988 ■交通：JR 川越線日進駅より徒歩 10 分

01 みんなが「ニコニコ」になる学校を目指して



本校では、高学年の代表委員を中心とした児童会活動に力を入れています。中でも、「日進小まつり」は全校児童で一体感を得られる大人気行事です。今年も「協力 ニコニコ 日進小まつり」をスローガンに、クラスで遊びのお店を出店しました。行事を通して、クラスで一致団結する喜びを味わい「ニコニコ」に。1年生は初めての日進小まつりを体験し「ニコニコ」に。「ニコニコ」な低学年を見て上級生が「ニコニコ」に、なっていました。



02 自ら学びを深めることができる児童の育成



本校では、令和7年度から「自ら学びを深めることができる児童の育成」を目標に、生涯にわたって学び続けることができるよう、全ての教科等に共通する『学びのシンキング・サイクル』を取り入れ、児童が自ら学習を調整する探究型の授業実践を行ってきました。教師が指導する時間を減らし、児童が気づき考え協働する時間を増やしていけるよう、今年度も研修と実践をしていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 日進北小学校** < > > > > > > >

目指す児童像

- 進んで学び、問い続ける子
- 人や社会とつながり、自分からあいさつのできる子
- 自律（自立）心をもって行動し、意欲的にチャレンジできる子



■所在地：さいたま市北区日進町3丁目178番地 ■電話：048-663-1842
■FAX：048-663-9884 ■交通：JR高崎線宮原駅・JR川越線日進駅徒歩10分

01 児童と地域のよりよい生活のために



児童が記入したカード

今年度は、合言葉「～自分～ すてきなあいさつ 日北っ子～ Ver.2」を掲げ、温かく、相手意識をもったあいさつができる児童の育成に力を注いでいきます。また、代表委員会の児童を中心に、右のような「ハッピースマイルカード」を募集しています。友達のよかったところや、してもらってうれしかったことをカードに書いて、昇降口に設置されている回収箱に入れてもらいます。そして、代表委員会の児童が給食時の放送で、カードの内容を全校に紹介します。

このような活動を通して、心のこもったあいさつや温かい言葉を増やしています。そして、在校生も本校卒業生も住みやすいまちづくりを目指す地域の一員となれるように願って取り組んでいます。

02 未来に向けて、誰もが幸せな生活をおくるために



「総合的な学習の時間」を活用し、SDGsに関連した実践に取り組んでいます。

3年生では、地域に住む方々の活動を知る学習を通して、地域のよさに気づき、地域に貢献する心情を育てています。4年生では、地域の身近な環境に目を向け、環境を守るといったことを理解し、持続可能な社会に向けての意識を高めています。5年生では、車いす体験や手話体験などを通して、「人にやさしいまち」についての考えを深め、よりよい福祉環境づくりに参加する態度を育てています。6年生では、日本と世界の国々の生活や文化の類似点や相違点を調べる中で、それぞれの国のよさを考えていき、異なる文化を尊重する態度を育てています。

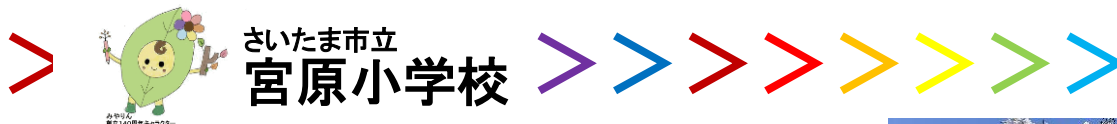


3年三貫清水の見学

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



本校は学校教育目標を「たがいに努める子（やる気）たがいにきたえる子（元気）たがいに手をとる子（勇氣）」とし、「自立した学び手を育成する授業づくり」を中心に研究を推進しています。

「信頼を土台に一人ひとりが輝ける学び舎」を目指し、

1. 子ども一人ひとりが輝ける学校
2. 保護者、地域が信頼して子どもたちを通わせる学校
3. 教職員一人ひとりが輝ける学校

の具現化に向け、教育活動に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市北区宮原町4丁目102番地6

■電話：048-664-5153

■FAX：048-664-8989

■交通：JR高崎線宮原駅東口徒歩15分

01 「生きる力」「確かな学力」を育む教育活動の展開



本校では、総合的な学習の時間において、3、4年生ではまちづくり（宮原のまちの魅力や住みよいまちづくり）、5年生ではエネルギー（環境）、6年生では働きがい（自分の将来）について学習しています。

6年生は「つぼみの日」をとおして近い将来である中学校生活に触れます。その後、職業について調べ、友達と話し合いながら、自分のこれからについて考えを深めています。



02 学んで「楽しい」「わかる」「力になる」授業づくり



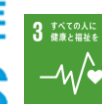
「自立した学び手を育成する授業づくり」に向け、各教科を中心とした研修に取り組んでいます。

令和7年度は、児童の学習に対する意欲・自己決定力・自己調整力・情報活用能力等が向上していくよう、学校全体として取り組んでまいります。

研修での学びを他教科等でも応用するとともに、SDG s の視点を意識した授業も行なってまいります。



03 子どもたちが健康で、安心、安全に学べる学校づくり



本校は、感染症等の予防対策として、うがいや手洗い等の衛生管理に努めています。また、子どもたちの心のケアにも注意を払い、「スクールダッシュボード」を効果的に活用し、変化を見逃さず、子どもたちが健康で安心、安全に学べる学校づくりを行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 植竹小学校** >>>>>>>>>>

「すすんでまなぶ子」「たすけあう子」「げんきな子」の学校教育目標のもと、今年度、開校75年目を迎え、「児童にとって学びがいのある学校」「保護者にとって頼りがいのある学校」「教職員にとって働きがいのある学校」「地域にとって誇りのもてる学校」の実現に向けて、教育活動を実践しています。



■所在地：さいたま市北区植竹町2丁目1番地 ■電話：048-663-7627
■FAX：048-663-9885 ■交通：JR 宇都宮線土呂駅より徒歩10分

01 地域のよさ、人とのかわりを知る活動



本校では、児童が学区探検や地域めぐり、施設見学を通して、地域の様子やよさ、地域に暮らす方たちとのかわりを知る機会を設けています。低学年の「通学路探検」や「まち探検」では、学校の周りの様子や施設、地域で暮らす方たちと自分たちとのかわりについて学習します。中学年では、自分のまちの素敵などを見つけ、調査し、まとめて発表する学習をしています。活動したことをもとに、児童は自分の住むまちの特徴などを知り、地域のよさを広めるためにできること、自分が地域のためにどんなことができるか考える機会をもちます。



これらの活動を通して、地域で暮らす方々の思いや願いを知るとともに、自分も地域の一員であることを自覚していきます。

02 盆栽のよさ・素晴らしさを実感し、発信する活動



本校の学区には、「盆栽町」があり、古くから盆栽に関する職業に携わる方々がたくさん住んでいます。第5学年の総合的な学習の時間では、「日本の文化を知ろう」と単元設定し、地域の特徴である盆栽について学習します。児童は、盆栽に関する施設を見学後、自分で課題を設定し、調査、まとめ、発表を行います。秋には自分の盆栽をつくります。この盆栽づくりも今年度で20周年を迎えました。



03 地域の特徴的な産業、人材を活用しての活動



本校では、学区内の盆栽の関係施設の方をお招きして、5・6年児童を対象に「盆栽教室」を実施しています。「盆栽教室」では、盆栽の歴史や見方、種類、育て方等を学習していきます。児童は、盆栽関係施設の方の指導のもと、盆栽ボランティアの方の補助をいただきながら、鉢の植付や剪定など世話の仕方を学び、「マイ盆栽」として、一人一鉢自分の盆栽をつくります。5年生の「マイ盆栽」の苗は、卒業生が選定した枝を挿し木として育て、後輩たちの苗として受け継がれています。毎年地域で開催される「大盆栽まつり」でも、6年生の「マイ盆栽」を出品し、地域の方々にも見ていただいています。「マイ盆栽」は、児童の委員会活動や盆栽ボランティアの方々の助けをかりながら、卒業まで世話をし続け、卒業後も自宅に盆栽を持ち帰り、継続して手入れをしていきます。「マイ盆栽」は、校内の盆栽庭園に並べられ、いつでも自分の盆栽の状況を目にすることができます。低・中学年の児童も、日頃から盆栽庭園の様子を目にすることにより、盆栽をより身近なものに感じられるような環境になっています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
大砂土小学校



- 開校153年目の伝統校
- あいさつと笑顔のあふれる学校
- 秩序あり、優しさのあふれる学校
- 認め合い、学び合い、高め合う学校
- 安全で美しい、潤いのある学校



■所在地：さいたま市北区本郷町1番地
■FAX：048-663-9886

■電話：048-663-7005
■交通：JR土呂駅徒歩12分

01 UD*の視点に立ち、教育DXされた教室環境で学ぶために



質の高い教育を行うために、すべての児童が学習に集中できる環境づくりを目指しています。導入されたプロジェクターの映像を鮮明に映し出すためのホワイトボード化を徹底しています。学習に関係のないものの掲示を制限したり、黒板横の掲示スペースにカーテンを設置し学習中はカーテンを閉めたり、教室前方の上方中央部に掲げられる学校教育目標や学級目標を教室後方に掲示したりすることで、児童の視点が黒板に集中できるようにするに、目標4「質の高い教育をみんなに」に取り組んでいます。

UD：ユニバーサルデザイン



02 安心・安全な学校生活のために



「認め合い、学び合い、高め合う学校」を目指すために、学習指導と密接に関連付けながら、生徒指導を充実させ、「認め、励ます」指導を展開したり、複数の教員による個に応じたきめ細やかな授業を実践することで、目標10「人や国の不平等をなくそう」などに取り組んでいます。また、安心・安全な社会の実現のために、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するとともに、いじめや不登校問題に対して、正確な情報を素早く把握できるように努め、迅速で組織的な対応を徹底します。管理職・各担任・専門職（SC・SSW*）等が連携し、教育相談体制を充実させ、児童のみならず、保護者にとっても「安心で安全な学校」を目指して取り組んでいます。

*SC：スクールカウンセラー SSW：スクールソーシャルワーカー

03 健やかな心と体を育てるために



広い校庭とたくさんの木々や花々に囲まれた自然豊かな学習環境を生かしたSDGsを意識したSTEAMS教育を展開しています。池や草地などが自然に近い状態で育まれていることで、様々な生き物たちが生息し、生活科や理科、総合的な学習の授業で活用しています。昆虫採集、植物観察など、自然との触れ合いを楽しみながら活動しています。また、学級ごとに落ち葉拾いの時間を設け、児童自らが環境を整える奉仕活動に取り組んでいます。これらの活動を通して、児童たちが当たり前前に自然に触れ、その大切さを感じ、目標11「住み続けられるまちづくり」などに関連して、地域とともにある学校づくりを推進してまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
大宮別所小学校



学校教育目標「大きな夢 カいっぱい～かしこく
ゆたかに たくましく～」のもと、令和時代を生きる
子どもたちの育成に取り組んでいます。また本校
の卒業生である若田光一宇宙飛行士からも、夢をも
つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの
大切さを学んでいます。



■ 所在地：さいたま市北区别所町 42-1

■ 電話：048-667-3633

■ FAX：048-667-8770

■ 交通：JR 高崎線宮原駅徒歩 20 分

01 夢をもち、挑戦し続ける児童の育成



本校は若田光一さんの母校です。令和4年度10月～令和5年3月に
若田さんが5度目のフライトを成功させました。

- 生活目標と連携した夢月間の設定。
- 「宇宙の日」の作文・ポスター絵画コンクールへの応募。
- 若田さんからのフライト記念品を宇宙コーナーに展示。

このような活動から、若田さんの「夢に向かって努力し、挑戦し続ける姿勢」を学ぶこと
で、夢をもつことの素晴らしさや、夢の実現のため努力することの大切さを学んでいます。



02 アプリやロボットを活用した STEAM TIME の実施



令和7年度の STEAM TIME において、3年生では、
スクラッチアプリを活用したアニメーション作りと、

みんなが楽しめるピタゴラ装置の作成。4年生は、照度や温度、人感といったセンサーが
搭載されたアプリ「MESH」を活用して、オリジナルの防犯カメラや火災報知機など生活を
便利にする道具作りを行いました。そして5、6年生においては、運動の特性や ICT、図工
の技術を活用して、新スポーツの開発及び実施を行いました。トライ＆エラーを何度も繰り
返し、誰もが楽しめる安全で公平な新スポーツを開発することができました。



03 食育の推進



本校には梨園があり、食育に力をいれた教育活動
を行っています。地域の農園の方の御指導のもと、

栽培委員が摘果や袋掛け、収穫を行います。収穫した梨は給食で提供し、食育の
一環となっています。梨園の他にも、中庭に夏みかんの木があり、収穫した夏み
かんと給食で提供しています。また、学校菜園では、低学年の生活科で花や
野菜の栽培、中高学年の理科で植物の生長を学ぶ学習において活用しました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 泰平小学校** > > > > > > >

■所在地：さいたま市北区今羽町628 ■電話：048-651-5637 ■FAX：048-651-4831
■交通：埼玉新都市交通ニューシャトル「今羽駅」より徒歩10分

01 大砂土デイサービスセンターとの交流を通して



本校は、学校の敷地内に大砂土デイサービスセンターが併設されています。各学年で以下のような交流を実施しています。

1年生：学校たんけん・昔あそびの会（生活科）

デイサービスが1年生廊下の奥にあるので、どんな場所なのか興味深々です。所員さんに話をインタビューしたり、休み時間に利用者さんと触れ合ったりします。

1年生



2年生：おもちゃフェスティバル（生活科）

自分たちの作ったおもちゃで遊びのお店を出して、1年生と利用者さんを招待します。輪ゴムでっぽうやどんぐりゴマなど、手作りおもちゃがいっぱいです。

2年生



3年生：デイサービスってどんなところ（総合）

低学年で利用者さんたちと交流を深め、3年生でデイサービスセンターについて詳しく学びます。所長さんから話を聞き、気になる点を自分たちで調べます。

3年生



4年生：敬老の日お祝い会（総合）

9月の敬老の日に合わせて、利用者さんたちに歌などのプレゼントをします。どんなことをしたら喜んでもらえるか、自分たちで企画して実行していきます。

4年生



5年生：ふれあいの輪・和を広げよう（総合）

デイサービスの方たちに学習した内容を披露する場を設けています。デイサービスの方たちに披露する内容は、毎年子どもたちが考えています。

5年生



6年生：はばたきの会への招待（総合）

六年間自分たちの学びを深めてくれたデイサービスの利用者さんたちをはばたきの会に招待します。6年間の成長の様子をまとめた劇や歌唱などをデイサービスの利用者さんに披露します。また、卒業前には茶話会を開き、デイサービスの利用者さんに感謝の思いを伝えます。

6年生



令和8年度も、引き続き交流の充実を図ります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立

つばさ小学校



1. 子どもたちが生き生きと輝く学校、教職員と保護者・地域がチームとなる学校、地域とともに発展する学校、職員みんなが力を発揮する学校を目指します。
2. 夢と希望をもち、未来にはばたくつばさ子を育成します。
3. 開校18年目を迎え、環境に優しく、設備も充実し、安全で安心して学ぶことができる学校です。



■所在地：さいたま市北区宮原町3-902-4 ■電話：048-661-0283
 ■FAX：048-653-4714 ■交通：日進駅徒歩6分 宮原駅徒歩12分

01 つばさ子のバトンをつなぐ



本校では児童会の計画委員会を中心に、異年齢集団でのたてわり活動に力を入れています。12月に予定している「つばさ子まつり」では高学年が中心となって、遊びのお店を企画・運営しており、児童にとっての一大イベントになっています。本番に向けて5・6年生を中心に、ロング昼休みを使った「たてわり遊び」や「たてわりランチ」をします。たてわりグループをまとめる堂々とした上級生の姿は下級生のお手本となり、憧れとなっていきます。本校は開校18年目と、まだ歴史の浅い学校ではありますが、これまでの卒業生たちが作ってきた伝統のバトンを引き継ぎ、渡す準備が整っています。



02 自立した学習者を育てるために



本校では令和7年度に、第26回関東甲信越地区小学校理科教育研究大会において、「主体的な問題解決を楽しむ子どもの育成 ～わくわく・ドキドキ、教師も子どもも共に学びを楽しむ～」を主題とした研究発表を行い、児童が自ら問いをもち、考え、学びを深めていく授業づくりについて成果を上げてきました。これまでの実践と蓄積を生かし、令和8年度も「自立した学習者」の育成を目指して、授業改善と校内研修を計画的にかつ継続的に進めていきます。子どもたち一人ひとりが主体的に学び、確かな学力と豊かな思考力を育めるよう、教職員が一体となって教育活動のさらなる充実に努めてまいります。さらに令和8年度は児童用コンピュータが更新され、



ICT環境が一層充実しました。個別最適な学びや協働的な学びを支えるツールとしてICTを効果的に活用し、子どもたちが主体的に学びを深められる授業づくりを推進していきます。